

# 大垣西濃信用金庫

## 大垣市・金融機関

全職員に個人面談と年1回の家族面談を実施し、家庭や仕事の悩みに対応。「いきいき応援課」を新設して、育児や介護による離職減少や女性管理職育成など、長く働ける環境づくりに取り組む。

従業員数／男性425名 女性196名 計621名 ※平成28年1月12日現在

平成27年度  
認定

# 悩みに早期対応する支援体制

大垣西濃信用金庫では、2007年から全職員を対象とした年2回の個人面談に加え、家族面談を実施。所属長が家庭訪問を行って、職場では言いづらい悩みまで把握し、適切な制度活用を促すなど早期対応に努めている。また育児と介護離職ゼロを目指し、

2015年に人事部に「いきいき応援課」を設置。職員の声から、育児短時間勤務を就学前まで延長したほか、保育園や介護施設と連携して、支援制度拡充を進めている。

2015年からは、女性が仕事を続けやすいよう、産前や産後の職員を対象に、「育児休業者復職支援研修」を開催し、復職に向けた情報提供や保育士の子育て相談を行う。妊娠6カ月で参加した清水有加里さんは、「同じ育児中の人と交流でき、不安が軽減した」と笑顔で話す。

さらに、女性管理職育成などキャリアアップにも注力。支店長登用に不可欠な渉外業務について、女性向けの研修プログラムを設け、現在までに3名を渉外係に配属。また活躍の裾野を広げるため、2015年からおもてなしの模範となる職員を「マイスター」、また保険業務

など特定分野の知識に長けた人材を「コンシエルジュ」に任命している。マイスターの山本美代子さんは、「自分の経験を伝えることで、他の職員にも『ここで勤め上げてよかった』と思ってもらいたい」とし、スキルアップに向けた指導に当たる。



育児休業復帰支援研修は3カ月ごとを実施。地元ボランティアの保育士が託児や相談を行い、子連れで参加できる。



2016年5月から産前休暇に入る予定の妊娠6カ月の清水有加里さんは、「職場に育休取得者が多いため、安心して休むことができる」と話す。